



2012年10月
・11月合併号
No.97

KOBE KAISEI HOSPITAL

～SINCE 2003～



日本医療機能評価機構
認定医療機関

陥入爪・巻き爪について

皮膚科部長 清水 秀樹

陥入爪は主に深爪を原因として生じる疾患であり、巻き爪は先端の狭小な履物により爪甲が側面から圧迫されて生じる疾患です。これらの症状はどの指趾にも生じますが、荷重のかかりやすい母趾（足の親指）に生じることが多いです。また、実際には陥入爪に巻き爪を合併している症例も多くみられます。

陥入爪・巻き爪の発症予防に一番大事なことは、深爪をしない、窮屈な靴を履かないといった日常生活の中で注意をしていくことです。足趾の爪を手指の爪と同じような形に切ると理解している人が多いですが、足の爪切りの基本は「スクエアオフ（平ら）に切ること」です（下図参照）。足趾の爪切りの方法を間違えなければ、陥入爪にはなりません。正しく爪を切りましょう。

陥入爪・巻き爪によって痛みがある時には、テーピング法・アクリル人工爪療法・超弾性ワイヤー療法・フェノール法による手術などによる治療法があります。

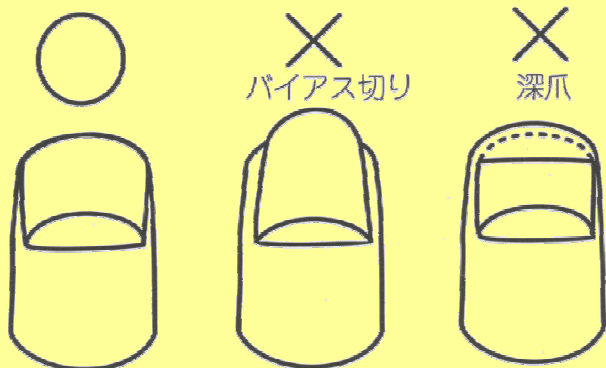
アクリル人工爪療法は、アクリル人工爪を自然の爪甲の上に装着して爪甲を長くする方法です。

超弾性ワイヤー療法は、爪甲の先端に注射針などで2ヶ所孔をあけて、形状記憶合金である超弾性ワイヤーをその孔に通して、爪の彎曲を矯正する方法です。

フェノール法は、爪母側縁をフェノール（組織腐食作用のある薬品）を用いて爪母を腐食させて、爪甲が生えないようにする手術です。

陥入爪・巻き爪は深爪や窮屈な靴を履くといった日常の生活習慣によって生じた爪による単純な異物反応です。当科では、陥入爪に対してはアクリル人工爪療法を第一選択として、巻き爪に対しては超弾性ワイヤー療法が極めて強い矯正効果を持つために第一選択として行っています。陥入爪・巻き爪による痛みで、お困りの方は一度皮膚科にご相談ください。

足指の爪切りの例



図：正しい足指の爪の切り方

★皮膚科の診察日時

	月	火	水	木	金	土
午前	清水	東田	清水	東田	担当医	担当医



ブラックジャック セミナー

開催しました

さる10月14日（日）、当院とジョンソン・エンド・ジョンソン(株)が共催し「ブラック・ジャックセミナー」を開催しました。「ブラック・ジャックセ

ミナー」は社会環境の変化に伴い、医師不足が懸念される中、より多くの中学生たちが夢と希望を持って医療従事者を目指してくれるとともに、これをきっかけとして医師になるという期待をもって、将来の医療に貢献したいという思いから、企画しました。兵庫県下では初めての実施になります。当日は神戸市内の中学生28名が参加し、手術縫合や整形外科コンピューター支援手術など、6つのプログラムを体験しました。当日の様子をご紹介します。



開会式の様子



全員 手術着に着替えて、
お医者さんに変身！

整形外科コンピューター 支援手術体験

整形外科では、ナビゲーションシステムという最新の機器を使ったシュミレーションや、骨切りを体験したりしました。



手術縫合体験

外科手術の基本、縫合・結紮体験です。
裁縫とはひと味違う？



最新医療機器体験（外科）

外科では、従来の開腹手術に代わる最新の腹腔鏡手術の体験もしました。

モニターを見ながら、マジックハンドのようなものを操作します。



眼科顕微鏡下手術体験

眼科では、顕微鏡を使った白内障手術体験を行いました。



内視鏡トレーニング体験

内視鏡センターでは、スコープを使って胃・大腸カメラの挿入体験をしました。



救急救命体験

人形を使って、AEDや気管内挿管の練習を行いました。



AED・心臓マッサージ体験



気管内への挿管体験



閉会式では、立石院長より「未来の医師認定証」を受け取りました。



本日参加の医師を代表して、金田診療部長からご挨拶

参加者、保護者の方からのおたより

- ・ 大変有意義なセミナー開催ありがとうございました。
- ・ 本日はお世話になりました。AEDの体験など、これからやくに立つように努力していきたいです。
- ・ ずっと、息子が迷っていた夢がこのセミナーに参加して決まりました。「整形外科医に絶対になる！」と誓っていました。
- ・ あまりにも、本格的で、全てが本物で、内容の充実さに驚かされました。

ご参加・ご応募いただいたみなさん、ありがとうございました。
(神戸海星病院スタッフ一同)

編集後記

ブラック・ジャックセミナーでは、参加された中学生のみなさんの真剣な眼差しが印象的でした。将来に期待しています！
(マルモリ)

神戸海星病院ニュース 10月・11月合併号 2012年11月発行
医療法人財団 神戸海星病院
〒657-0068 神戸市灘区篠原北町3-11-15
TEL 078 (871) 5201(代表) <http://www.kobe-kaisei.org/>
責任者 辻本 武志 編集責任者 森元 秀敏